

禅ぜん ZEN

安永 祖堂

4

昭和を代表する禅僧のお一人であり、花園大学の学長を長く務められた山田無文老師の自叙伝『わが精神のふみだ』の中に、以下のような一節があります。

「そのう大阪毎日新聞社が主催して、日本で初めての学生英語弁論大会というものが開催された。それに応募したのである。なんでも十四、五人の応募者があつたと思うが、女の子の紅一点もあつて、わたくしはあいかわらず黒一点であった。(引用者注: 老師がついに黒い法衣を着ておられた)」

と書いておられます。会場は関西学院講堂で赤れんがの学院が今の王子公園のところにあった

のである。

そのスピーチの原稿を、当時老

師が通つておられた室町教会の畠中博牧師という方に添削してもら

I(私)とWE(私たち)

に「WE」とは非常に強い印象をわざわざ与えた。ハイブルのどんな言葉よりもわたくしはそれを常に親しくいたしました。それは仏教の無我論にも通ずるものだが、われわれは決してアイを主張してはならないこと、常にウイで生活しなければならないということを教えられたのであります。

ところでおには、まったく正反対の経験があります。通訳養成所にいたころ、同じように英文スピーチの原稿の添削をアメリカ人の先生に依頼しました。ところが、ネーティブスピーカー(英語を母國語とする人)の先生は、私の使っているWEという字を全部消してIに訂正してしまったのです。

そして、「WE」というのはいつたい誰と誰とのことなのでしょうか? いい

かげんな文章を書いてはいけません。日本人はすぐに、We, Ja-

panese(われわれ日本人)と言いたがるのですが、それはよくありません。こまかさず、はつきりI(私)と書きなさい。

そして、これが私の考え方であるといふに、自分の意見に自信と責任を持つべきです。

さて、皆さんはどちらの考え方を贊同されますか? 山田無文老師が感銘を受けられた

ように、I(私)は決して主張されるべきではないのでしょうか?

それとも、WE(私たち)というような表現は避けるべきで、はつきりI(私)と自己主張するべきなのでしょうか?

伝統教団のあり方に不満を感じる人であっても、冬の京の街を素足にワラジかけ、托鉢行にまわる空水(神宗の修行道)を目にするれば、心に感じる何かがあるかもしません。その彼らがこの数日、まったく姿を見せないとお気づきでしょうか。じつは十一月一日から八日の早朝まで、彼らは「隠バ大接心」という流行に取り組んでいるのです。およそ一千四百年前、积尊は十二月八日の早朝、曉の明星を見て悟りを開かれました。いやしくも禪門の学生ならば、積尊の三分の一でも自らの身体でもってその悟りを追体験しなければなりません。そこで八日間は神堂にもり、ほとんど不眠不休でひたすら坐禅を組むのです。

そのスピーチの原稿を、当時老

師が通つておられた室町教会の畠中博牧師という方に添削してもら

るといふに、自分の意見に自信と責任を持つべきです。

さて、皆さんはどちらの考え方を贊同されますか? 山田無文老師が感銘を受けられた

ように、I(私)は決して主張されるべきではないのでしょうか?

それとも、WE(私たち)というような表現は避けるべきで、はつきりI(私)と自己主張するべきなのでしょうか?

一九七九年以來、「東西靈性交流」という宗教交流プログラムが続々と行われています。この場

合の「東」とは、龍溪宗、曹洞宗、黄檗宗の三派を指し、「西」とはキリスト教カトリック修道会主にベネディクト会、トロピスト会を言います。

この交流は布教がその目的ではなく、互いの伝統を学びあい、それによって自らの「靈性」を深めようというものです。

「外國語をまったく知らない人は、母國語も知らない」。ゲーテの言葉ですね。生まれてこの方、日本語をしゃべっている。英語もフランス語もわかるないけれど、日本語ならわかる。そうではないのです。外國語を学ぶこと、日本語と比べることができる。その

砂の上の足跡

時初めてなるほど日本語ばかりです。宗教もまた同じことがいえます。私がお世話になつた天龍寺では、修行僧全員で八日の食事当番の修行僧も余計なことを考えずに、坐禅に集中できることを配慮しているのですね。献立を続けることが決められています。食事当番の修行僧も余計なことを考えずに、坐禅に集中できることを配慮しているのですね。

しっかりと食べさせますが、寝させません。そして、坐禅に加えて、公案(こうあん: 修行者に課せられる禅問答の問題)の解決を迫り、修行僧を身心ともに極限状態に追い込みます。一時に精神に異常をきたす者も珍しくありません。感情の起伏は妙に激しくなり、五感は鋭く研ぎ澄まされます。慈母観音のあたたかい子宮の羊水に泡かれ、味わったとのない幸福感に涙を流したり、天空にそびえる大ケヤキの木の葉一枚、一枚が二酸化炭素の呼吸をしている。吐く息、吸う息を間近に見たりもします。

なぜ彼はこのよう苦悽な修行にとり入るのでしょう。おそらく、私たちが平凡な日常の感情の波みを立ち止まってのぞくという

ような機会があるのでしょうか。あるいは、ふだんのありふれた時間の本当の価値に気づいているのでしょうか。あたりまえの事、なにげない時の貴重さを知るために、さうには日常の真の意味に気づくには、非日常ともいっておりであります。

つまり彼らは、この特異な寒行を通して、ただただいままでの自分というとの本当の意味を探しているのです。

(花園大教授)

禅ぜん ZEN

安永 祖堂

5

代の洗練をへて、じつに合理的にできています。私がお世話になつた天龍寺では、修行僧全員で八日の食事当番も整えてしまいます。そして、朝食はお粥と梅干し、昼食と夕食は茶飯に長汁と大根の漬物というふうに、毎日同じ献立を続けることが決められています。食事当番の修行僧も余計なことを考えずに、坐禅に集中できることを配慮しているのですね。

しっかりと食べさせますが、寝させません。そして、坐禅に加えて、公案(こうあん: 修行者に課せられる禅問答の問題)の解決を

迫り、修行僧を身心ともに極限状態に追い込みます。一時に精神に異常をきたす者も珍しくあります。

感情の起伏は妙に激しくなり、五感は鋭く研ぎ澄まされます。慈母観音のあたたかい子宮の羊水に泡かれ、味わったとのない幸

せん。感情の起伏は妙に激しくなり、五感は鋭く研ぎ澄まされます。慈母観音のあたたかい子宮の羊水に泡かれ、味わったとのない幸

せん。感情の起伏は妙に激しくなり、五感は鋭く研ぎ澄まされます。慈母観音のあたた

禅ぜん

安永 祖堂

7

ZEN

語るのを何度も聞かされました。生涯独身を貢ぎ、絶対に魚肉を召し上がるなかった峨山和尚。唯長に就任されるまでの鹿王院住職時代は、赤貧洗うが如く、好物のお酒もほとんど飲めなかったそうです。ただ毎月の丑の日、境内のあちこちの祠に檀家の人たちがお酒をお供えする。その日は、和尙は朝からそわそわしておられます。

そして夕方になると、小皿に注がれたお神酒を集めてくる。湯呑み茶碗一杯ほどになつたそのお酒を睨みながら、大ヤカンを入れた井戸水をぐいぐい飲みます。最後にその一杯のお酒を飲んで、満足しておられたそうです。

そんな和尚に一度、好きなだけお酒を飲んでもらおうと、門前の「かどう」という、名前もやんちやんと呼ぶお店の主人が、夕餉に招いておられたそうです。心のこもった手料理と一緒にお酒を存分にいたたいておられた和尚は、すっかり上機嫌です。天衣无缝な人柄は、僧侶に向かって多くの人々に愛されました。明治の傑僧です。圓取を負かしたという六尺近い堂々たる体躯。天衣无缝な人柄は、僧侶に向かって多くの人々に愛されました。明治の傑僧です。圓取を負かしたといふのは、峨山和尚という神宗のお坊さんの一句であることを存じでしようか。

橋本鐵山。鶴門の変の余波で焼失した天龍寺の再建に尽力した、明治の傑僧です。圓取を負かしたといふのは、峨山和尚という神宗のお坊さんの一句であることを存じでしようか。

私は以前、会議通訳の先生から、お坊さんが英語を勉強するのなら、マーティン・ルーサー・キンク牧師のスピーチのビデオはぜひ見ておかなくてはいけませんと言いました。心のこもった手料理と一緒にお酒を存分にいたたいておられた和尚は、すっかり上機嫌です。

店にあった番前に張る和紙をひろい出がありました。心のこもった手料理と一緒にお酒を存分にいたたいておられた和尚は、すっかり上機嫌です。天衣无缝な人柄は、僧侶に向かって多くの人々に愛されました。明治の傑僧です。圓取を負かしたといふのは、峨山和尚という神宗のお坊さんの一句であることを存じでしようか。

私が天龍寺で修行していた頃もなお、峨山の古老たちが、「あんな偉い和尚は二度と出ません」と

さわざ作品の中に登場させたかったほどの稀代の禪僧、峨山和尚。

四十八歳の若さでじくなられた和尚の遺徳は、今も感動の人たちから慕われているのです。

文豪谷崎潤一郎の「春琴抄」は、幕末・明治期の大坂が舞台です。琴の名手で、幼くして失明した美女・春琴と、驕慢な彼女に仕える奉公人・佐助の屈折した恋の物語ですね。

ところで、その細愛物語を綴めぐるのは、峨山和尚という神宗のお坊さんの一句であることを存じでしようか。

橋本鐵山。鶴門の変の余波で焼失した天龍寺の再建に尽力した、明治の傑僧です。圓取を負かしたといふのは、峨山和尚という神宗のお坊さんの一句であることを存じでしようか。

その屏風には、和尚の字が楔じて「さざやつ」と彌ってい

ます。世に隠れた逸品、お酒の香りが漂つとき、そうな、愉快な囁きです。

三者との関係ではなく、自身の主体性が確立されていることをいうのが、「自由」なのです。

だから、「自由」であつてこそ自分が住むというので、「自由自在」とな

禅ぜん

安永 祖堂

8

ZEN

約一ヶ月後、ビデオとともに届いた彼の手紙には、このビデオを入手するのにどれほど苦労したかが緩らていました。

彼の住んでいる町のビデオ・シヨップでは、どうも在庫がなく販売してなくて、わざわざ製造元に注文して取り寄せたというのです。どうやらアメリカは、キング牧師の精神を忘れてしまったのかかもしれません。

しかし、やつとの思いいで送ってくれたビデオの内容は確かに素晴らしいものでした。一九六三年八月二十八日、リンカーンメモリアルの前で、二十万人の人々とともに、人種差別撤廃を訴える演説です。「私には夢がある」と繰り返しながら、滔滔と語り続けるキング牧師の演説は、肌を剥立てる迫力に満ちるものでした。特に、人間にとって自由といふことがどれほど大切であるかを語る一節には、大いに感激を受けました。ところが、それを手に入れるのが大変だったという思い出があります。

私は以前、会議通訳の先生から、お坊さんが英語を勉強するのなら、マーティン・ルーサー・キンク牧師のスピーチのビデオはぜひ見ておかなくてはいけません。

先生は、そのビデオはアメリカのビデオ・ショッピングには大概置いてありますと言われます。

早速、私は、ワシントンDCに住む、坐禅会のメンバーに手紙を書いて、そのビデオを購入して送ってくれるように頼みました。

みなさま、明けましておめでとうございます。と申しましても、すでに一月も七日、色々「間」が抜けた挨拶かもしれません。

ということで、今日は、「間」のお話です。以前ラジオの番組で、アメリカ人ハラタウスのジョン・ヨーに答えていました。その中

で、ハワイ大学で民族音楽を学んでいた氏が日本に来て京都に滞在し、尺八を学ぶようになったきっかけなどを話していました。

興味深かったのは、アメリカ人として日本の伝統楽器である尺八を学ぶまでの難しさとして、

「間」について触れていたことです。氏が言つには、尺八を吹く際の音符と音符のあいだの「間」、

ただの休符とは微妙に異なるそ

の音のない時間の意味を理解するものが、困難だったと言つのです。

その理由として、東洋の伝統芸術の一つである「墨絵の『余白』」の意義を引き合いに出しています。そしてその墨絵の『余白』は、尺八の吹奏の「間」に通じるものではないかと述べています。

さうに、日本家庭にある「床の間」という空間の存在を指摘してきました。たとえばアメリカ人ならば、家を建てるとしてあるような場所は作らない。日本の家の「床の間」を見ても、氏ならば本棚にでもすればよいにと思うほどである。

しかし、「床の間」はそこに一輪挿しを置くなりするだけで、他に何もないその特定の空間の意義を主張しているのだと言いつつも二つの「間」であるに違いないと語っていました。

最後に、そのような墨絵の「余白」、日本家庭の「床の間」などは、尺八の「間」と同じく、仏教の空、禪の無といった思想につながるのではないかと答えていたのです。

アメリカ人である海山氏が、「間」という言葉から、日本の文化の背景へと思いをめぐらし、それを根柢に追ううとしています。日本人である私たちが、「間抜け」とののしられて腹を立てるとしても、なぜ「間抜け」が悪口になるのかさえ知らなければ、本当に「間抜け」になってしまふのでしようか。

（花園大教授）

禅ぜん

安永 祖堂

9

ZEN

約一ヶ月後、ビデオとともに届いた彼の手紙には、このビデオを入手するのにどれほど苦労したかが緩らていました。

彼の住んでいる町のビデオ・シヨップでは、どうも在庫がなく販

売してなくて、わざわざ製造元に注文して取り寄せたというのです。どうやらアメリカは、キング牧師の精神を忘れてしまったのかかもしれません。

しかし、やつとの思いいで送ってくれたビデオの内容は確かに確かなものでした。一九六三年八月二十八日、リンカーンメモリアルの前で、二十万人の人々とともに、人種差別撤廃を訴える演説です。「私には夢がある」と繰り返しながら、滔滔と語り続けるキング牧師の演説は、肌を剥立てる迫力に満ちるものでした。特に、人間にとって自由といふことがどれほど大切であるかを語る一節には、大いに感激を受けました。ところが、それを手に入れるのが大変だったという思い出があります。

私は以前、会議通訳の先生から、お坊さんが英語を勉強するのなら、マーティン・ルーサー・キンク牧師のスピーチのビデオはぜひ見ておかなくてはいけません。

先生は、そのビデオはアメリカのビデオ・ショッピングには大概置いてありますと言われます。

早速、私は、ワシントンDCに住む、坐禅会のメンバーに手紙を書いて、そのビデオを購入して送ってくれるように頼みました。

みなさま、明けましておめでとうございます。と申しましても、すでに一月も七日、色々「間」が抜けた挨拶かもしれません。

ということで、今日は、「間」のお話です。以前ラジオの番組で、アメリカ人ハラタウスのジョン・ヨーに答えていました。その中

で、ハワイ大学で民族音楽を学んでいた氏が日本に来て京都に滞在し、尺八を学ぶようになったきっかけなどを話していました。

興味深かったのは、アメリカ人として日本の伝統楽器である尺八を学ぶまでの難しさとして、

「間」について触れていたことです。氏が言つには、尺八を吹く際の音符と音符のあいだの「間」、

ただの休符とは微妙に異なるそ

の音のない時間の意味を理解するものが、困難だったと言つのです。

その理由として、東洋の伝統芸術の一つである「墨絵の『余白』」の意義を引き合いに出しています。そしてその墨絵の『余白』は、尺八の吹奏の「間」に通じるものではないかと述べています。

さうに、日本家庭にある「床の間」という空間の存在を指摘してきました。たとえばアメリカ人ならば、家を建てるとしてあるような場所は作らない。日本の家の「床の間」を見ても、氏ならば本棚にでもすればよいにと思うほどである。

しかし、「床の間」はそこに一輪挿しを置くなりするだけで、他に何もないその特定の空間の意義を主張しているのだと言いつつも二つの「間」であるに違いないと語っていました。

最後に、そのような墨絵の「余白」、日本家庭の「床の間」などは、尺八の「間」と同じく、仏教の空、禪の無といった思想につながるのではないかと答えていたのです。

アメリカ人である海山氏が、「間」という言葉から、日本の文化の背景へと思いをめぐらし、それを根柢に追ううとしています。日本人である私たちが、「間抜け」とののしられて腹を立てるとしても、なぜ「間抜け」が悪口になるのかさえ知らなければ、本当に「間抜け」になってしまふのでしようか。

（花園大教授）

禅ぜん

13

安永 祖堂

寺の和尚には痛い出費ですが、仕方がない。これも南泉和尚以来の因縁でしょう。それはつまり、こんな話があるのです。

昔、中国の唐の時代、南泉和尚といいう方がおられました。立派な禪僧でしたから、お弟子さんがたくさんおられます。ある日、そのお弟子さんたちが、一匹の猫を巡って言い争っています。それを聞きましたお嬢さんたちが、一匹の猫をつかまえて、言われました。

「おまえたちが仏道にかなつた一句を言えるなら、猫を助けてやろう。さもなくば、この猫を斬つてしまつぞ。」誰も何とも答えられません。かわいそうな猫は南泉和尚に斬られてしまつたというのです。

さて、何と答えたか猫を救えた

でしょうか。これが禪の修行者に課せられる問題。公案: こつあんといいます)になつてゐるのです。

天龍寺には「南泉斬猫の井戸」

という古井戸があります。昔、この問題がどうしても解けなかつた修行僧が、絶望してその井戸にとびこんで命を絶つたとか、こう呼ばれているのです。

まさにまかせて修行していた頃、その井戸の話を聞かされた時には思ったものです。「南泉斬猫」の公案、ついで自殺していたら、命がいくつあっても足らんとい

う。しかし、修行僧が、絶望してそのまま死んでしまったのです。それを見た侍の一族の子孫は

健在です。ですが、ご宗旨は神宗ではありません。プロテスタントです。それを見たおまえがだらし

ないからだといふ批判もさ

ります。しかし、キリスト教に

改宗されたのは、先代の当主の

若い頃だそうですから、あまり責

めないで下さい。

話はこゝからなのです。そのご

子孫がじつにお寺によくしてく

ねるにつけ、さらには

年齢を重ねるにつれ

少しずつわかるようにな

り、自ら命を絶つと

いう修行僧の心情も理

解できるようになります。

した。みなさんはどう思われますか?

ところで、いまも本

堂の総領で無邪気な寝

ている三匹の猫、もし

ご希望の方をおられた

ら、喜んでおゆずり下

さい。

ます。どうぞ連絡下

さい。

ます。

禅ぜん

安永 祖堂

[16]



わたしの兄の次男坊は、バンド小僧です。高校生の時、四国大会でロック部門の第二位に入賞したそうです。わたしに言わせれば、それが彼の人生の歴史を狂わせましたね。

自分には才能があると信じて、バンド仲間と一緒に大阪に出てきて、ライブをなす日々を過ごしているのです。

兄に連れられて、時々ライブハウ

スに様子を見に行っています。

しかし、あれはいい年をしたおつさんの行くところではありません。

まるで頭が割れそうな音量です。

そして若者たちの汗臭さ。

まるで苦行で行ってあげたりします。そんな

時の彼らはいい目をしていました

アマチュアとプロフェッショナル

望ども言うべきミュージシャンの卵が約十三万人もいるのだそうです。まさに道はるかですね。

ところでプロとアマの違いとは何でしょう。音楽の世界なら、趣味で演奏を楽しむのはアマで、音楽を提供して報酬をもらえるのが

プロでしょうか?

「サービスを提供して報酬をい学生諸君に尋ねるのです。『では、

プロの坊さんとアマの坊さんの違いはどうあるべきなのか?』

「お葬式で引導を渡すのは、亡くなつた故人ではない。遺族の方

みや喜びを分かち合っていけるのか? 住職とはそれだけでいいのか?」

茶髪にピテスの坊さんの卵たちも、けっこう真剣にディスカッションにのってきますよ。

ところで、あなたはアマですか? プロですか? プロとおっしゃるなら、何のプロですか?

(花園大教授)

禅ぜん

安永 祖堂

[17]



ストーンズがやってくる

中高年のアイドル、ザ・ローリング・ストーンズがやって来ます。五年ぶりのワールドツアー。大阪ドームでも公演がありますね。老眼鏡の向こうのミック・ジャガーの姿が、感激の涙にじむファンの方も大勢おられるのではないか? さてわたしは禅の卵であることをどうだろ? か? 「サービスを提供して報酬をい学生諸君に尋ねるのです。『では、ただのものがプロなら、プロの宗教家とはどうあるべきなのか?』

「お葬式で引導を渡すのは、亡くなつた故人ではない。遺族の方

みや喜びを分かち合っていけるのか? 住職とはそれだけでいいのか?」

茶髪にピテスの坊さんの卵たちも、けっこう真剣にディスカッションにのってきますよ。

ところで、あなたはアマですか? プロですか? プロとおっしゃるなら、何のプロですか?

(花園大教授)

中高年のアイドル、ザ・ローリング・ストーンズがやって来ます。五年ぶりのワールドツアー。大阪ドームでも公演がありますね。老眼鏡の向こうのミック・ジャガーの姿が、感激の涙にじむファンの方も大勢おられるのではないか? さてわたしは禅の卵であることをどうだろ? か? 「サービスを提供して報酬をい学生諸君に尋ねるのです。『では、ただのものがプロなら、プロの宗教家とはどうあるべきなのか?』

「お葬式で引導を渡すのは、亡くなつた故人ではない。遺族の方

みや喜びを分かち合っていけるのか? 住職とはそれだけでいいのか?」

茶髪にピテスの坊さんの卵たちも、けっこう真剣にディスカッションにのってきますよ。

ところで、あなたはアマですか? プロですか? プロとおっしゃるなら、何のプロですか?

(花園大教授)

禅ぜん

安永 祖堂

[18]



自力の救い

花園大國際禪学科の教授陣は、ついで、それぞれの分野の一流の先生ばかりです。たとえば、インド佛教史の研究で今もともアブハイをしておられるのは、本学の佐々木闇先生でしょう。この先生がいつも言われるが、「法華經」というお経にあります。『長者窮子のたとえ』と呼んでいます。『信解品第四』で述べています。金持の長者の息子が家出をして、乞食となって放浪し、最後に父親のもとに帰ってきてその財産を譲られるという話です。『父親』は仏であり、『息子』は人間をいふのであります。それができる自信はあるのか? 高いお布施をいたぐりになら、死体にかかるうじ虫と変わらないだぞう

ところで、あなたはアマですか? プロですか? プロとおっしゃるなら、何のプロですか?

(花園大教授)

禅

25

安永 祖堂

江戸時代の初め、盤珪永琢といふお坊さんがいました。(この)盤珪和尚に次のような逸話が残されています。
盤珪和尚のおられるお寺の近くに一人の目の不自由な老人がいて、「ねづね不思議」そうに話しています。
およそ人というものは、相手の喜びごとにに対してお祝いを述べるときには、その言葉に嫉妬のひびきがある。つまり、隣の家の息子が世に出すれば、「おめでとう、よかかったね」と口では言つしかし、その言葉にねたましい思いがもつっているのが、わたしには聞こえます。

サバン症候群

ればならないので
ようね。すなわち
相手の喜びをわが
のごとくにするお
喜べる。あるいは
相手の悲しみを自
の悲しみのように
じる」とができる
口先だけか、そ
でないか、わかる
にはちゃんとわか
のですね。紹介す
たびに背筋が寒く
る怖い話です。

幼児期に肉体的、あるいは精神的に大きな障害を受けた人に起る、ひとつの能力が異様に高まるというものですね。

おそらくこの目の不自由な老人も感覚がふつうの人よりも鋭かったのでしょうか。ですから、一般的な人たちは間違えない「意外のひびき」を聞くことができたのだと思います。そして、老人は続けて

「このように言ったそうです。盤珪和尚は、ふつうの人たちと違う。和尚が『おめでとう』とお祝いを言えば、わたしにはそれだけしか聞こえない。『気の毒に』と慰めている時には、ただそれだけのひびきしかない。どんな言葉もそのとおりにしか聞こえない。なんとも不思議な和尚だ。」「空」の法理を説いても、盤珪和尚のよ

たなどというときには、「かわいそうに、元気を出してね」と励ます。だが、そのような不幸が自分に起らなかつたことに安心しているのが、わたしにはわかる。人間の体と言つるのは不思議なもので、身体器官の一部が欠損するといふと、それを補うためにほかの器官が異常に発達するといわれます。「サバン症候群」を存じでよいか。「サバン」とは、フランス

禅
ぜん

安永 相當

先日、その美貌と柔軟な講義で学生たちから慕われている吉村俊子助教授に、初めて声をかけていただきました。

教養課程で英語を教えておられる吉村先生とは、ほとんど話をすら機会がなかったのです。そこで今回は、先生からかがつた話を紹介させていただきます。

先生が二〇〇一年にハワイで学会発表されたとき、ミシガン大学のジョン・マクラフリンという先生と初めてお知り合いになったのだそうです。

それから、二〇〇二年三月のシンガポール、さらに今年三月のワシントン・D.C.での学会でも一緒に成了ったそうです。それでなんなく話を交わすようになつて、吉村先生は、花園大学という神の大学に勤務していると自己紹介されたのですね。

すると、ジョン先生は、「以前、私が日本の大阪にいたとき、安永祖堂という人に禪を学んだ」と言つたのだそうです。驚いたのは、吉村先生です。

それはどうでしよう。先生の研究室のちょうど斜め前の研究室で、怪しげな香を嗅いで坐禅にふけっているのが、その安永祖堂なのですから。

そこで先生が、その人は今、同

「縁とは不思議なもの」

彼らに満足してもらえない
ような話をしなけれ
ばと、苦闘していた日々が、
神悟としての私の原点だつた
がします。

そして、懐かしい思
い出をよみがえらせさせて
くれた吉村先生のお話
の中で、何よりも感動した
かったことがあります。それは、ジョン先
生が今でも遙くのゼン
・センターに通つて坐
禅を続けていると話す
ていたということです。

ら、今度はジョン先生がびっくりしたそうです。
最後に驚いたのは、吉村先生からこの話を聞かされた私です。そういえばそれらしい人がいたような、いなかつたような。
早速、寺に帰つて昔の坐禅会の記録を調べてみました。ありましたね、一九九〇年の九月三十日から一九九四年の二月二十日にかけて、当時留学生だったジョン先生が、毎週のよつに坐禅会に来てくださいました。

禪
ぜん

神様は自分勝手?

まえはそうではないから教わないと、そんな自分勝手な神様だったら私は信じない。神様と呼ばれるならば、たとえ自分を信じていいようが信じていいが、苦しんでいるものは分け隔てなく救うべきだと思う。そういう神様だったら信じてもいい」

その言葉を聞いて、ルームメイトは怒り出したそうです。「私の神様は自分勝手じゃない。私は教会で神の教えを学び、毎日の生活も神の教えに従っている。だから神様は救ってくれるのよ。あなたはどうなの？ 自分は何もしないで神ならば救うべきだという、あなたこそ自分勝手なのよ」

結局、二人は意見が分かれたままだったそうです。

ところで、昔のインドでは「猿猫論争」という議論があったといいます。

つまり、危険を感じたとき、母猿は子猿を抱いて逃げます。そのとき子猿もしつかり母猿にしがみついていますね。では猫はどうです。子猫は母猫に首をくわえられたまま、なにもしません。

神仏と呼ばれるような絶対者に対して人間はどうあるべきか。すべてをまかせるべきなのか、あるいは自らも努力めるべきなのか。考えてみればむづかしい問題ですね。

るろとがよハ

三九

۷

たはこういう教
ドンがどういう
らない。この世
かどうかもわから
しこの世界の終
人々が苦しんで
たのいう神様が
て、おまえはわ
答えたそで

禅
ぜん

「あんちゃん、あんちゃんはうらに生まれる前はどこの家の子だったんだい？」

安永 祖堂

28

輪廻転生

思想が見えます。人間の考える」とは、あまり変わらないものなのですね。

輪廻はもともとインドの言葉で、サムサーाといいます。以前フランスに行った時、空港で金髪の美女がこちらをうらんで、サムサーাとロゴの入っている大きなポスターを見てびっくりした」とお見えています。香水の広告だったのでですね。いったい輪廻とはどのような香りがするのでしょうか。

「流れる」ということです。ガンジス川の雄大な流れ、あの流れにあって、少し上流で生まれたばかりの赤ちゃんが湯湯と便い、その下流では亡くなつた人を焼いた灰を流している。生命の流転を痛感させられるのも納得できますね。

明治のころの話です。東京のある伯爵家の大きな法事の席で、雪原照律师といふ律宗のお坊さんと垣山和尚といふ淨宗のお坊さんがたむかまつま談り合わせて同席したのです。法要は無事に終わりました。いよいよお齋です。垣山和尚は出される御馳走は魚肉であれ何であれすべて「おいしい」と言いながら次から次へ召し上がったそうです。注いでいたいただい般若湯も、どんどん飲まれました。

仏さまじや

禪
ぜん
ZEN

安永 祖堂

20

はいただからねいのか？」（法律家は
答えます。「拙僧は、戒律を重んじる僧ですから魚肉はいたしません」。（般若湯も飲まないのか？「もぢろんたしなみません」。（その言葉を聞いた垣山和尚は、おもむろに言ったそうです。「魚も肉も食さず、お酒も飲みます。（貴僧は人間ではありませんな

悟りを開いたら戒律などを守る必要はない、何をしててもよいというではありません。ただの二人のお坊さんのやりとりを見ていると、同じく仏教といつても禅には大地に足をしっかりと踏みしめて生きる人間への質問、おおらかな人間性の肯定ともいうような一面があるように思えます。

さらには宗教とか信仰と呼ばれるような、何か一つの固定された枠の中におさまってもいよいよを感じます。

流れる水はぐぐりませんが、よどんだ水はすぐにくさってしまします。禪の修行にあつては、どのようなすばらしい境地にいたつたとしても、そことどまる」とを許しません。

二三の新聞社が「歴史に残る二十世紀の百の言葉は?」というアンケートを実施しました。その中に日本語が三つ入っていたのです。おわかりになりますか? 「カミカゼ」、「ボケモン」として「禪」です。なんとなくフランス人の考える日本のイメージが浮かびますね。

ところで、「このように「禪」が世界の言葉にまでなるように英語で歐米に紹介したのが、鈴木大拙」という方です。その大拙博士の著書「禪と日本文化」から「無心」という話を紹介しましょう。

むかし、ひとりのきりが山奥でせつせと木を切り倒していました。するとそこに、サトリという動物があらわれました。珍しい生き物だったので、きりは生け捕りにしようと思いました。

サトリの死の部分が抜けてサトリに命中して、サトリは死んでしまったという話です。大拙博士は言われます。「いくら人の心を読めたサトリでも『無心』の心までも読むわけにはゆかないがたのです」。なかなか含蓄のある話ですね。ところで、私はこの話から学べることはまだあると思います。それは次のようなことです。さとりがいくら捕まえようとしても捕まえられなかつたサトリは、斧の先が当たって死んでしまいました。さとりがやつと手に入れるまでのできたサトリは、死んだサトリなのです。サトリの死体なのです。捕まえられたとき、死んでいるのがサトリ、まさに神の悟りと同じなのです。むずかしいですね。ではこう考えてみましょう。私た

禅
ぜん

卷之三

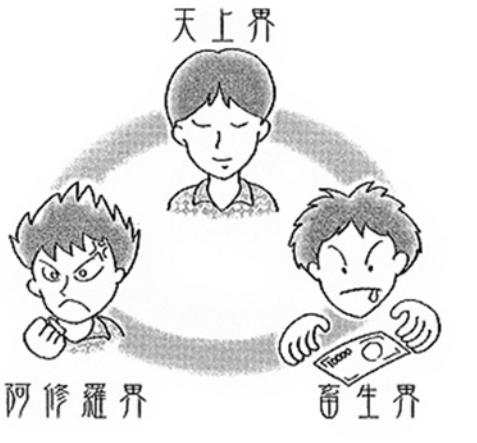
9

N

安永 祖生

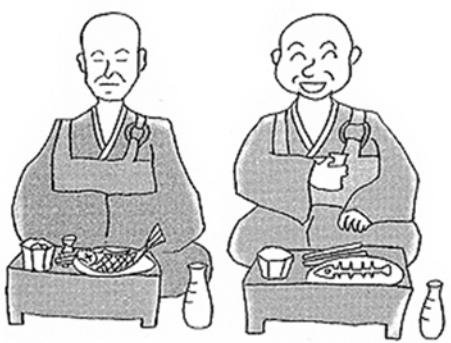
四

しゃべったのです。「おまえはおれを生き捕りにしようと思つてゐるな」。さういは驚きました。サトリは人の心を読むこともできたのですね。だから、さういひがいくら捕まえようとしても、捕まえられません。



いかがですか。一瞬一念に生死を超える。それが、禪の輪廻です。

一念に生死を超
る。それが、禪
輪廻です。

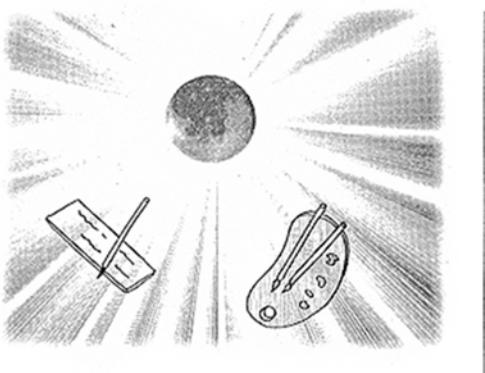


煩惱のとてわれたからやつと抜け出たとしても、こんどは悟りに縛られてしまっている。うのでは、不自由であることに変わりはありません。ふつうが残っているうちは、さらには禪も禪であることを拒否するのです。



ちが禪の悟りとは何か
を学ぶとします。悟り
について書かれている
本を読み、高僧の法話
を聞く。それは悟りの
死体解剖だというと
です。医学の進歩に人
体の解剖が有益である
ように、悟りについて
学ぶことがまつたく無
駄とは申しません。し
かし、あなたが理解し
ようとしている、その
ような悟りは「死んだ
悟り」でしかないのです。

(花園大教授)



禅
ぜん

安永 祖堂

34

たね。すぐ裏に現在の牧師さんが一家が住んでおられるので、つましやかな生活がうかえで好感を持てました。そのゴッホが、生涯を通じて一人の理解者といってよい弟テオに書き送った手紙のなかに、このような一節があります。

そのものによつて、我々の色彩
振動によつてこれをもとめる

ゴッホの手紙

おのが自の
ちからで見ると思うなよ
月の光で月を見るなり

禅ぜん ZEN 教え子が訪ねて来てくれるのはうれしいものです。教員として彼らが立派になっている姿を見る
と、感動いたします。
ただし、わたしの場合は一般的な先生方とは、その感動の種類が少々違っているかもしません。髪を金色に染めてピアスをはめている今の大学生が、墨染めの衣に頭を丸めて研究室に入ってくるのですから。

教え子が訪ねて来てくれるのうれしいのです。教員として彼らが立派になつてゐる姿を見ると、感動いたします。

ただし、わたしの場合は一般の先生方とは、その感動の種類が少々違つてゐるかもしません。髪を金色に染めてピアスをはめていた今時の太学生が、墨染めの衣に頭を丸めて研究室に入つてくるのですから。

僧堂（禪の修行道場）とばかりがたいところです。入門して一年もたてば、立ち居振る舞いがそれなりに禅僧らしくなつてくるのです。修行僧の指導に当たつておられる方々の、「苦勞は大変なものだ」と思います。

禅宗の修行僧を「雲水」と呼ぶのを存じですか。それは、空を歩

「私は五十になつて始めて道に志す事に気がついた愚痴です。その道がいつ手に入るだらうと考へる大変な距離があるやうに思はれて吃驚しています。あなた方は私はよくわからない禅の専門家ですが、やはり道の修業に於いて骨を折っているのだから五十までぐすぐずしていた私よりどんなに幸福か知れません。又どんなに勝な心がけかわかりません。私はあなたの方の奇特な心持を深く礼拝しています」

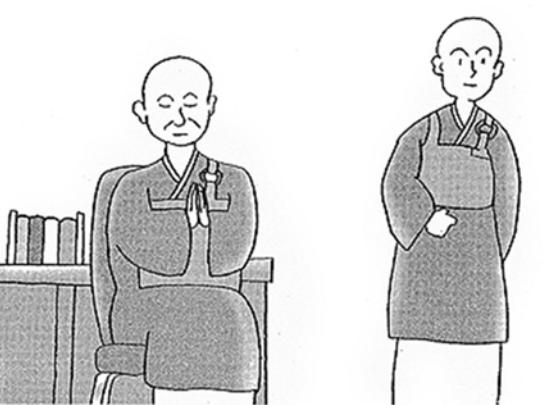
「ローマの休日」が好きです。オールドファンの方が多い知らせですね。ジタル・ニューマスターかしいオードリー・ヘプバーンうことができます。私は「尼僧物語」という感動した思い出がありまドリーがシスター・ルーテ修道女を演じているので、女はアフリカで看護婦としたいという誓願を立てギーの修道院に入ります。父親は、意志の強いわが音に従えるかどうか心配です。そうです。この映画のひとつが、修道院の鐘なわち神の命令であり、順に従えるかどうかとい

ドイツによつて殺されます。修道院に運び込まれたドイツ軍兵士の看病ができません。敵を愛せないです。結局、彼女は修道院を去ります。

「還俗してレジスタンスの本部に向かう彼女の背中に、修道院の鐘の音が響きます。余韻の残るラストシーンですね。

ところでの作品、ある僧侶の言葉を思い出させます。雲門文偃といふ僧は問うのです。「世界はこんなにも広大だ。なのになぜ必要な台所の鐘を聞くたびに、いちいち愛を眷けて本堂に行かなければならぬのだ?」

社会生活をおくるには、規則がなければ不便でしようがないません。信号が赤でも道路を横断していたのは、危なくて自動車の運



禅
ぜん

安永 祖堂

35

行く處のよう、あるいは川を流れる水のとく、悟りをもとめて自由に行脚の旅をつづけていくところからこう呼ばれるのだそうです。

禅
ぜん



禅

卷之三

36

彼女は憤ります。病室で不安に
おびえる患者の訴えを聞いてあげ
ていても、合図の鐘が鳴ればすぐ
に礼拝室に向かわなければなりません。

尼僧物語

ドイツによって殺されます。修道院に連び込まれたドイツ兵士の看病ができません。敵を愛せないです。

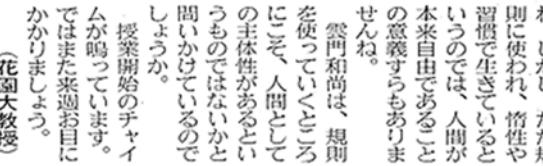
「結局、彼女は修道院を去ります。」

還俗してレジスタンスの本部に向かう彼女の背中に、修道院の鐘の音が響きます。余韻の残るラストシーンですね。

ところでこの作品、ある種憎の言葉を思い出させます。森門文蔵

という備は間うのです。「世界はこんなにも広大だ。なのになぜ必要な合図の鐘を聞くたびに、いちいち愛を誓って本堂に行かなければならぬのだ?」

社会生活をおくるには、規則がないと不便でしょうがありません。信号が赤でも道路を横断していくのでは、危なくて自動車の運



て殺されます。修道院を去ります。シスタンスの本部に向かいます。そこで、修道院の鐘の中間に、修道院の鐘の音が聞こえます。余韻の残るラスト。この作品、ある種の傑作です。『魔門文庫』で書かれています。世界は危ういのです。なのになぜか、人間たちは、危機感を聞くたびに、いちいち本堂に行かなければなりません。なぜか?」

て殺されます。修道院は修道院を去ります。されたドイツ軍兵士の向うで、敵を愛せないません。敵を愛せない

禅ぜん

安永 祖堂

43

「コヘレトの言葉」に興味を惹かれて旧約聖書を読み出したという人がたくさんいるようです。コヘレトの言葉、「空虚」、というものは、紀元前3世紀の中ごろ、エルサレムに住む年老いた名無姓賢者によって書かれたとされています。

空と無

「コヘレトの言葉」は、紀元前3世紀の中ごろ、エルサレムに住む年老いた名無姓賢者によって書かれたとされています。

「空虚」、なんという空虚、すなはち旧約聖書では「空虚」が七十三回出でますが、そのうちの三十八回はこの「コヘレトの言葉」に出てきます。「なんといふ空虚、なんという空虚、すなはち空虚」。(「空の空、空の空、いっさいは空である」と訳している聖書もあります)

仏教でも空を説きます。ただしよく誤解されがちなのが「空虚」という表現です。「すべては空虚」。そのとおりです。でも二ヒリズムではありません。よく考え

てみてください。「すべては空虚」という以上は「すべては空虚」、という言葉も「空虚」のではなくすから、「空虚」のではなくあります。マイナス1になってしまいます。マイナス1がプラス1になってしまいます。

プラスが「ある」の世界、マイナスが「ない」の世界。「ある」と「ない」の堂々巡りをしていませんか。佛教の空はゼロです。ゼロはすごいですね。ゼロにプラス10、プラス100、いくつとも加えられます。つまり無限のものを受け入れられるのです。ゼロからマイナス10、マイナス100、いくつでも引けます。無限のものを持っていますね。

「ある」と「ない」を超えてい

るものが空虚です。空ではそれを超えた無です。ただし空の無はそのような理屈っぽいものではありません。

扇風機の羽根を思い出してみてください。電源がOFFのとき、三枚だから四枚だから羽根はちゃんと見えていますね。手でざわざわ

ともできますね。しかし、スイッチをONにして羽根が回転し始めたらどうでしょう。強風が欲しいので急速で回転させたら、一枚

一枚の羽根は見えますか? 羽根にざわれま

すか? その時、扇風機の羽根はあってなくしてあるのです。

同じように、あなたがなすべき仕事に心

不乱に集中しているとき、自分を忘れていることがあります。

まさにそれが禅のいう「無の境地」の入り口

なのです。禅の無は説明されて納得するものではありません。みずから実践して体得すべきものなのです。

(花園大教授)

禅ぜん

安永 祖堂

44

国際禅堂に来ている外国人、とくにアメリカからの留学生たちと京都のレストランなどで一緒に食事をしていると感心することがあります。日本に来ている初対面のアメリカからの観光客とともに自然に挨拶を交わしているのです。

かれらは、日本に来ている初対面のアメリカからの観光客とともに自然に挨拶を交わしているのです。

そこで、私は「おはようございます」とお話しします。あの頃はよく

ミサの時間だったそう、聖歌を聞いた瞬間、自分のいるべき場所はどこだと感じたのだそうです。

その場で入門を希望したのですが、もちろんあっさり断られたと

いって。しかし、すぐに日本に帰つて、両親の許可を得て、

ふたたび入門を願い出て許されたのだそうです。

その場で入門を希望したのですが、もちろんあっさり断られたと

いって。しかし、すぐに日本に帰つて、両親の許可を得て、

ふたたび入門を願い出て許されたのだそうです。

この神父さんはまだ四十代になつたばかりなのですが、すでに四十年以上ベルギーで生活している

という日本人修道女の方が、こんな言葉をもらっていたのが印象的でした。

「年を取るにつれて、自分の中

の日本人が頭をもたげてくる」。

最近になって何故か、帰

集本能がうすくのだそう

です。自分ではキリスト教徒になりきつたつもり

でいた。ところがそれはやはり、西洋のものだつたということに気付かされた、ということなので

しょうか。

ヨーロッパで暮らす日本

人キリスト教徒たち。

おの方たちが住んでいるのは、もしかすると「心

の異郷」のかもしれません。

そして、帰りたくなるのは、「心」の日本な

のかもしれません。

南ドイツで開かれていた坐禅会

のお話は、以前に紹介させていた

お話を、以前に紹介させていた

